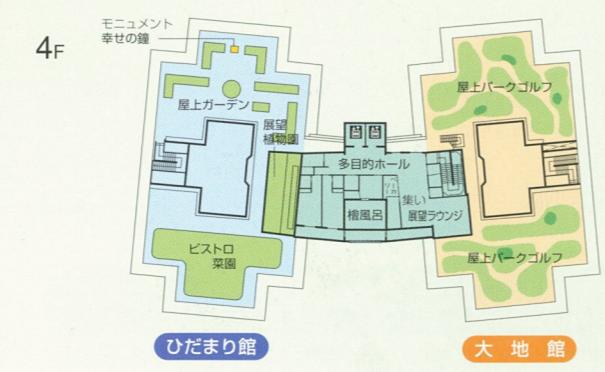
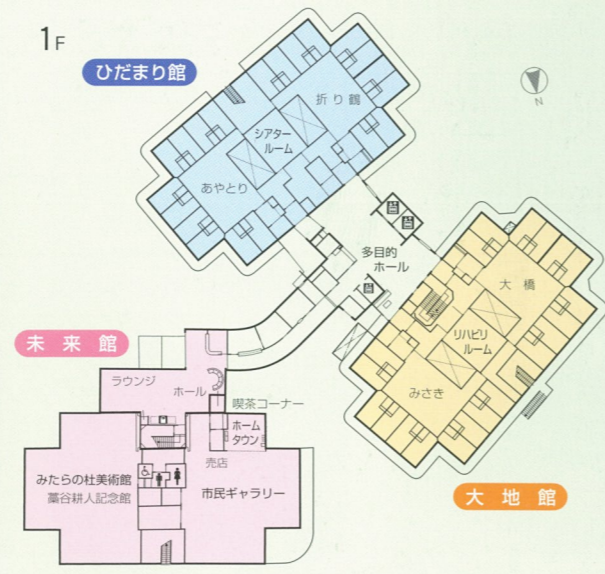


概要

施設名称／介護老人福祉施設 みたらの杜
 場所／室蘭市絵鞆町2丁目22-1
 開設／平17年9月15日
 設置者／社会福祉法人 幸清会
 定員／利用定員124名+ショートステイ16名
 構造／地上4階 地下1階 鉄筋コンクリート造り
 敷地面積／12,331.82㎡
 建築面積／ 3,718.20㎡
 延床面積／ 9,177.30㎡
 主な設備／居室(ミニキッチン・クローゼット・電動ベッド)
 美術館・市民ギャラリー・喫茶コーナー・売店
 和室・談話室・相談室
 シアタールーム・リハビリルーム
 車椅子浴・臥床浴・檜風呂・温室・花壇・菜園
 屋上パークゴルフ・歩行訓練
 居酒屋・ベーカリーなど

未来館	ひだまり館	大地館
1F／みたらの杜美術館 藁谷耕人記念館 市民ギャラリー	1F／折り鶴 あやとり シアタールーム	1F／大橋 みさき リハビリルーム
2F／ふれあい 和み	2F／風車 笹舟居	2F／マリン イルカ
	3F／しゃぼん玉 竹とんぼ	3F／太陽 大空
	4F／檜風呂 屋上ガーデン 集い ビストロ菜園 展望植物園 幸せの鐘	4F／屋上パークゴルフ



介護老人福祉施設「みたらの杜」

- 1. 完全個室でユニットケアを行う新しい特養施設です。**
 一人ひとりの暮らし方に配慮した介護サービスを実践する「みたらの杜」は、完全個室を基本に、10人単位でユニットを形成してケアを行うユニットケアを導入しています。このケアの特長は、入居者一人ひとりの暮らし方にさまざまなかたちで配慮できることです。プライベート、セミプライベート、セミパブリック、パブリックと、充実した4つの生活ゾーンをもつ施設空間も併せて、入居者の満足感をソフト・ハード面に反映させています。
- 2. 文化の香りのする施設を目指しています。**
 施設内に国内初の美術館を併設しています。常設展示では、日本美術画壇の最高峰・藁谷耕人（わらや・こうじん）画伯の作品を観賞していただけます。また市民ギャラリーも併設し、東北地方で使用していた柱や梁などの古材を用いた和風ギャラリー空間が特徴。地元の方の芸術作品や子どもの作品展示など、さまざまな催し物を開催する地域の文化活動の拠点として、入居者に加え広く市民の方々が交流できる場になりたいと考えています。
- 3. 喫茶コーナー・ベーカリー・居酒屋があり、眺望も抜群です。**
 「みたらの杜」は入居者の皆様が生きがいを感じながら生活できる環境を整備しています。喫茶コーナー（1階）は、入居者がご家族と一緒に気軽に利用していただけます。ベーカリー（4階）でつくられた、できたてのパンを各ユニットでも召し上がっていただけます。本格的な居酒屋コーナー（4階）もあり、室蘭名物の“焼き鳥”を味わうことができます。屋上には、植栽・花壇・菜園・歩行訓練場・パークゴルフ場・温室などを整備。駒ヶ岳をはじめ、白鳥大橋、有珠山、羊蹄山など、すばらしい眺望も満喫できます。



社会福祉法人 幸清会 <http://www.koseikai-wel.or.jp>

介護老人福祉施設

みたらの杜

〒051-0035 室蘭市絵鞆町2丁目22-1

- デイサービスセンターみたらの杜
- みたらの杜 児童居宅介護事業所
- みたらの杜 居宅介護支援事業所
- みたらの杜 身体障害者居宅介護事業所
- みたらの杜 ヘルパーステーション
- みたらの杜 知的障害者居宅介護事業所

お問い合わせ TEL 0143 (26) 2700 FAX 0143 (27) 2411
 美術館直通 TEL 0143 (26) 2800



真善美
 心の探求
 創造する生活空間

文化活動の拠点

介護老人福祉施設
みたらの杜



「四季花鳥図」藁谷耕人 書き下ろし作品



藁谷耕人氏 プロフィール

1927 (昭2) 福島県生まれ。本名 昇。
 1943 (昭18) 北海道石狩・十勝地方に援農隊として2ヶ月従事する。
 1947 (昭22) 東京美術学校 (現在東京芸術大学) 日本画科に入学し、平山郁夫先生と同級生になる。
 1952 (昭27) 同校卒業。卒業制作「奥久慈の秋」。
 1953 (昭28) 千葉県市川市国府台女子学院美術講師となる。
 1955 (昭30) 同校依願退職。
 日本美術院展に「暮色」初入選。
 1958 (昭33) 日本美術院展に「暮雪」入選。
 院友へ推挙される。
 1958 (昭33) 日本美術院同人前田青邨先生に師事する。

1974 (昭49) 「寂光」日本美術院奨励賞受賞。
 1977 (昭52) ヨーロッパスケッチ旅行。特待へ推挙。相模の歴史画20号28点制作。
 1979 (昭54) ギリシャ、中国へスケッチ旅行。
 1984 (昭59) 紺綬褒賞受賞。両国新国技館大陶壁画、相模の歴史画4点制作。
 1988 (昭63) 千葉県展にて「狩猟文幻想」が笹岡賞受賞。インドへスケッチ旅行。
 1989 (平1) 石川県和倉温泉「加賀屋」花鳥画97点制作。
 1991 (平3) スペインへスケッチ旅行。「現代水墨画講座 現代山水専科」(日本美術教育センター刊)を発行、出版。

1992 (平4) 画業45周年記念個展を松戸、棚倉会場にて開催。
 1997 (平9) 画業50年と古希を記念して、松戸伊勢丹、棚倉町倉美館にて個展を開催。国連事務総長アナン夫人に水墨画の話及び御前揮毫を披露する(帝国ホテルにて)。
 2002 (平14) 千葉県教育功労者賞受賞。
 2003 (平15) 郷里ルネサンス棚倉、倉美館にて父子三人展開催。
 2005 (平17) 室蘭市みたらの杜美術館開館、50点余りを常設展示。
 「四季花鳥図」書き下ろし作品制作する。



市民ギャラリー



筆塚



檜風呂



特殊浴室



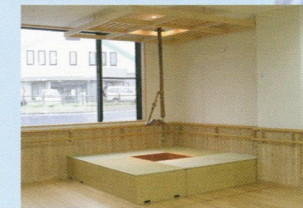
車イス浴



居酒屋コーナー



展望植物園・歩行訓練スロープ



囲炉裏



和室



屋上ガーデン モニュメント「幸せの鐘」



展望ラウンジ



ミニパークゴルフ (9ホール)



シアタールーム



リハビリルーム

個人の暮らしを尊重した、最適な生活環境をつくる ユニットケアがお届けする、ゆとりと安心の介護サービス

駒ヶ岳や有珠山、白鳥大橋などの豊かな自然環境や景観を臨む立地にある「みたらの杜」。
 ここには、個人の暮らしを尊重し、小グループ単位でケアを行うユニットケア方式で、入居者の方々にご満足いただける居住環境があります。目指しているのはカントが提唱した「真善美」のこころ。人間の理想的な生き方をみつけたケア理念を基本に、豊かでゆとりのある人生の継続をサポートしています。



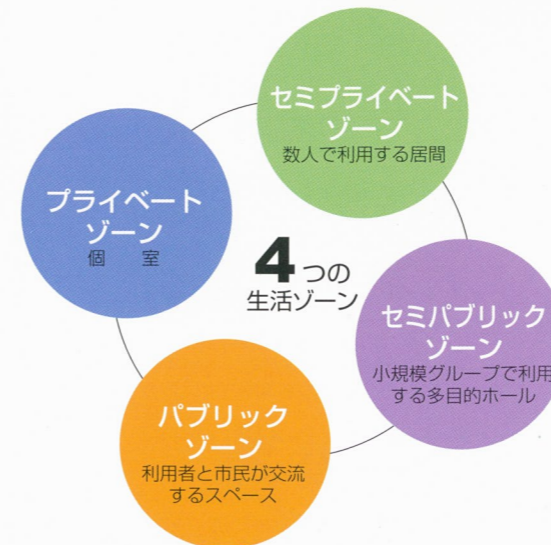
受付



ホールからユニットへの通路

みたらの杜は1ユニット10人の小グループ、14ユニットで構成されています。

個室には、愛用の家具の持ち込み、専用電話の引き込みも可能。全室にミニキッチン、洗面化粧台、トイレなどを完備。



居室 (個室)



居室 (二人室)



ユニット (リビング)

